

正誤表

項目	誤						正									
金抜設計書  単価表	単 価 表						単 価 表									
	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
	1	19 - ( 1 )	交通規制工 車線規制 IV×1×0×1 A	80	回			見積対象	1	19 - ( 1 )	交通規制工 車線規制 IV×1×0×1 A	76	回			見積対象
	2	19 - ( 1 )	交通規制工 車線規制 IV×1×0×1 B	45	回			見積対象	2	19 - ( 1 )	交通規制工 車線規制 IV×1×0×1 B	45	回			見積対象
	3	19 - ( 1 )	交通規制工 車線規制 V×1×0×1	61	回			見積対象	3	19 - ( 1 )	交通規制工 車線規制 V×1×0×1	61	回			見積対象
	4	19 - ( 1 )	交通規制工 車線規制 VI×1×0×1	135	回			見積対象	4	19 - ( 1 )	交通規制工 車線規制 VI×1×0×1	126	回			見積対象
	5	19 - ( 2 )	交通保安要員 交通監視員 A	1,413	人・日			見積対象	5	19 - ( 2 )	交通保安要員 交通監視員 A	1,337	人・日			見積対象
	6	特 - ( 1 )	覆工コンクリート表面処理工 A	6,901	m <sup>2</sup>			見積対象	6	特 - ( 1 )	覆工コンクリート表面処理工 A	6,901	m <sup>2</sup>			見積対象
	7	特 - ( 2 )	炭素繊維シート接着下地処理工 A	6,901	m <sup>2</sup>			見積対象	7	特 - ( 2 )	炭素繊維シート接着下地処理工 A	6,901	m <sup>2</sup>			見積対象
	8	特 - ( 3 )	炭素繊維シート接着工 A	13,802	m <sup>2</sup>			見積対象	8	特 - ( 3 )	炭素繊維シート接着工 A	13,802	m <sup>2</sup>			見積対象
	9	特 - ( 4 )	炭素繊維シート表面仕上工 A	6,901	m <sup>2</sup>			見積対象	9	特 - ( 4 )	炭素繊維シート表面仕上工 A	6,901	m <sup>2</sup>			見積対象
	10	特 - ( 5 )	断面修復工 B 1	820	L			見積対象	10	特 - ( 5 )	断面修復工 B 1	820	L			見積対象
	11	特 - ( 6 )	止水注入工 A	2,087	m			見積対象	11	特 - ( 6 )	止水注入工 A	2,087	m			見積対象
	12	特 - ( 7 )	はく落防止対策工 C	650	m <sup>2</sup>			見積対象	12	特 - ( 7 )	はく落防止対策工 C	650	m <sup>2</sup>			見積対象

## 誤

正

2/247 数量総括表

[illegible]

2 / 247

[illegible]



項目	誤	正																				
特記仕様書																						
20-5 覆工コンクリート表面処理工																						
20-5-5 支払																						
20-6 炭素繊維シート接着下地処理工																						
20-6-3 材料																						
	<p>監督員に報告し、その指示を受けなければならない。これに要する費用については、監督員と受注者で協議して定めるものとする。</p> <p>(3) 覆工コンクリート表面処理工による施工は、本体構造物及び支障物等に損傷を与えないように慎重に行うものとする。</p> <p>(4) ウォータージェット工法による表面処理工は、水道水を使用すること。</p> <p>(5) ウォータージェット工法による回収（汚濁）水は沈殿槽に貯水し排水時においてその水質は、各自治体が定める基準に適合しなければならない。なお、回収（汚濁）水の沈殿槽への貯水及び水質調整等に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わない。</p> <p>(6) 回収（汚濁）水から分離した汚泥の処分については、関連する法令に基づき適切に処理しなければならない。なお、汚泥の処分に要する費用については、別途、監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <p>(7) 施工中の飛散防止対策に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。</p> <p>20-5-4 数量の検測</p> <p>覆工コンクリート表面処理工の数量の検測は、設計数量(m<sup>2</sup>)で行うものとする。</p> <p>20-5-5 支払</p> <p>覆工コンクリート表面処理工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m<sup>2</sup>当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うウォータージェット工法を用いた処理、清水の調達、濁水処理、トンネル支障物箇所周辺のディスクサンダー工法等による処理、施工中の飛散防止対策等覆工コンクリート表面処理工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用（汚泥の集積、運搬、処分に要する費用は除く）で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特- (1) 覆工コンクリート表面処理工</td><td></td></tr><tr><td>A</td><td>m<sup>2</sup></td></tr></table> <p>20-6 炭素繊維シート接着下地処理工</p> <p>20-6-1 定義</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、炭素繊維シート接着箇所の既設トンネル覆工コンクリート面の下地処理を行うことをいう。</p> <p>20-6-2 種別</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工の単価表の項目の種別は、下表のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>A</td><td>移動足場上で既設覆工コンクリートの下地処理を行うことをいう。</td></tr></table> <p>20-6-3 材料</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工に使用する材料は、「設計要領第三集 トンネル 保全編 (2) トンネル本体工」4-9-3 の規定に従わなければならない。</p> <p>20-6-4 施工</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工の施工にあたり、事前に断面修復やひび割れ等への対策が必要になった場合は速やかに監督員に報告し、その指示を受けなければならない。これに要する費用については、監督員と受注者で協議して定めるものとする。</p> <p>20-6-5 数量の検測</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工の数量の検測は、設計数量(m<sup>2</sup>)で行うものとする。</p>	単価表の項目	検測の単位	特- (1) 覆工コンクリート表面処理工		A	m <sup>2</sup>	単価表の項目	区 分 内 容	A	移動足場上で既設覆工コンクリートの下地処理を行うことをいう。	<p>監督員に報告し、その指示を受けなければならない。これに要する費用については、監督員と受注者で協議して定めるものとする。</p> <p>(3) 覆工コンクリート表面処理工による施工は、本体構造物及び支障物等に損傷を与えないように慎重に行うものとする。</p> <p>(4) ウォータージェット工法による表面処理工は、水道水を使用すること。</p> <p>(5) ウォータージェット工法による回収（汚濁）水は沈殿槽に貯水し排水時においてその水質は、各自治体が定める基準に適合しなければならない。なお、回収（汚濁）水の沈殿槽への貯水及び水質調整等に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わない。</p> <p>(6) 回収（汚濁）水から分離した汚泥の処分については、関連する法令に基づき適切に処理しなければならない。なお、汚泥の処分に要する費用については、別途、監督員と受注者との協議し定めるものとする。</p> <p>(7) 施工中の飛散防止対策に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。</p> <p>20-5-4 数量の検測</p> <p>覆工コンクリート表面処理工の数量の検測は、設計数量(m<sup>2</sup>)で行うものとする。</p> <p>20-5-5 支払</p> <p>覆工コンクリート表面処理工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m<sup>2</sup>当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うウォータージェット工法を用いた処理、清水の調達、濁水処理、トンネル支障物箇所周辺のディスクサンダー工法等による処理、施工中の飛散防止対策、移動足場（トラック架装リフト（デッキ旋回・ブーム型）揚程8m～10m未満）に要する費用等覆工コンクリート表面処理工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用（汚泥の集積、運搬、処分に要する費用は除く）で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特- (1) 覆工コンクリート表面処理工</td><td></td></tr><tr><td>A</td><td>m<sup>2</sup></td></tr></table> <p>20-6 炭素繊維シート接着下地処理工</p> <p>20-6-1 定義</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、炭素繊維シート接着箇所の既設トンネル覆工コンクリート面の下地処理を行うことをいう。</p> <p>20-6-2 種別</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工の単価表の項目の種別は、下表のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>A</td><td>移動足場上で既設覆工コンクリートの下地処理を行うことをいう。</td></tr></table> <p>20-6-3 材料</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工に使用する材料は、「トンネル施工管理要領（本体工編）1-3 基準試験 表-2 基準試験 (11/15)小片を超えるはく落対策工の材料、(13/15)全工法共通」に適合するものでなくてはならない。</p> <p>20-6-4 施工</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工の施工にあたり、事前に断面修復やひび割れ等への対策が必要になった場合は速やかに監督員に報告し、その指示を受けなければならない。これに要する費用については、監督員と受注者で協議して定めるものとする。</p> <p>20-6-5 数量の検測</p> <p>炭素繊維シート接着下地処理工の数量の検測は、設計数量(m<sup>2</sup>)で行うものとする。</p>	単価表の項目	検測の単位	特- (1) 覆工コンクリート表面処理工		A	m <sup>2</sup>	単価表の項目	区 分 内 容	A	移動足場上で既設覆工コンクリートの下地処理を行うことをいう。
単価表の項目	検測の単位																					
特- (1) 覆工コンクリート表面処理工																						
A	m <sup>2</sup>																					
単価表の項目	区 分 内 容																					
A	移動足場上で既設覆工コンクリートの下地処理を行うことをいう。																					
単価表の項目	検測の単位																					
特- (1) 覆工コンクリート表面処理工																						
A	m <sup>2</sup>																					
単価表の項目	区 分 内 容																					
A	移動足場上で既設覆工コンクリートの下地処理を行うことをいう。																					

項目	誤	正												
特記仕様書														
20-6 炭素繊維シート接着下地処理工	20-6-6 支 払 炭素繊維シート接着下地処理工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う覆工コンクリート面の清掃、不陸整正、プライマー処理等炭素繊維シート接着下地処理工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。	20-6-6 支 払 炭素繊維シート接着下地処理工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う覆工コンクリート面の清掃、不陸整正、プライマー処理、移動足場（トラック架装リフト（デッキ旋回・ブーム型）揚程8m～10m未満）に要する費用等炭素繊維シート接着下地処理工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。												
20-7 炭素繊維シート接着工	<table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一（ 2）炭素繊維シート接着下地処理工</td><td></td></tr><tr><td>A</td><td>㎡</td></tr></table>	単価表の項目	検測の単位	特一（ 2）炭素繊維シート接着下地処理工		A	㎡	<table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一（ 2）炭素繊維シート接着下地処理工</td><td></td></tr><tr><td>A</td><td>㎡</td></tr></table>	単価表の項目	検測の単位	特一（ 2）炭素繊維シート接着下地処理工		A	㎡
単価表の項目	検測の単位													
特一（ 2）炭素繊維シート接着下地処理工														
A	㎡													
単価表の項目	検測の単位													
特一（ 2）炭素繊維シート接着下地処理工														
A	㎡													
20-7-3 材料	20-7 炭素繊維シート接着工	20-7 炭素繊維シート接着工												
20-7-6 支払	20-7-1 定 義 炭素繊維シート接着工とは、炭素繊維シートを既設トンネル覆工コンクリート面に接着することを用いる。 20-7-2 種 別 炭素繊維シート接着工の単価表の項目の種別は、下表のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>A</td><td>移動足場上で炭素繊維シートを既設覆工コンクリート面に接着することをいう。</td></tr></table>	単価表の項目	区 分 内 容	A	移動足場上で炭素繊維シートを既設覆工コンクリート面に接着することをいう。	20-7-1 定 義 炭素繊維シート接着工とは、炭素繊維シートを既設トンネル覆工コンクリート面に接着することを用いる。 20-7-2 種 別 炭素繊維シート接着工の単価表の項目の種別は、下表のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>A</td><td>移動足場上で炭素繊維シートを既設覆工コンクリート面に接着することをいう。</td></tr></table>	単価表の項目	区 分 内 容	A	移動足場上で炭素繊維シートを既設覆工コンクリート面に接着することをいう。				
単価表の項目	区 分 内 容													
A	移動足場上で炭素繊維シートを既設覆工コンクリート面に接着することをいう。													
単価表の項目	区 分 内 容													
A	移動足場上で炭素繊維シートを既設覆工コンクリート面に接着することをいう。													
	20-7-3 材 料 炭素繊維シート接着工に使用する材料は、「設計要領第三集 トンネル 保全編 (2)トンネル本体工」4-9-3 の規定に従わなければならない。	20-7-3 材 料 炭素繊維シート接着工に使用する材料は、「トンネル施工管理要領（本体工編）1-3 基準試験表-2 基準試験 (11/15)小片を超えるはく落対策工の材料、(13/15)全工法共通」に適合するものでなくてはならない。												
	20-7-4 施 工 (1) 炭素繊維シート接着工は、施工時及び養生時の温度や湿度、施工環境条件等を十分考慮し、繊維シートへの含浸接着樹脂の含浸及び覆工コンクリートとの一体化が確実に行われ、所定の力学的性能が十分発揮できるように施工するものとする。 (2) 炭素繊維シート接着工は、5℃以上での施工が基本であり、5℃未満で施工を行う場合には、ジェットヒーター等を用い加温養生を行い、施工環境を5℃以上に保つか、あるいは5℃未満でも施工可能な材料を用いなければならない。これに要する費用については、監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (3) 炭素繊維シート接着工の施工時に湿度が高く、施工環境条件を満足できないことが予測され対策が必要になった場合は速やかに監督員に報告し、その指示を受けなければならない。これに要する費用については、監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (4) 日々の施工完了後の交通開放にあたり、走行車両による風圧によってシートの剥離等が懸念される場合、養生等の条件に十分注意し、炭素繊維シートの端部を帯板とアンカーを併用する等、機械的に覆工コンクリートに止める等の処置を行わなければならない。	20-7-4 施 工 (1) 炭素繊維シート接着工は、施工時及び養生時の温度や湿度、施工環境条件等を十分考慮し、繊維シートへの含浸接着樹脂の含浸及び覆工コンクリートとの一体化が確実に行われ、所定の力学的性能が十分発揮できるように施工するものとする。 (2) 炭素繊維シート接着工は、5℃以上での施工が基本であり、5℃未満で施工を行う場合には、ジェットヒーター等を用い加温養生を行い、施工環境を5℃以上に保つか、あるいは5℃未満でも施工可能な材料を用いなければならない。これに要する費用については、監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (3) 炭素繊維シート接着工の施工時に湿度が高く、施工環境条件を満足できないことが予測され対策が必要になった場合は速やかに監督員に報告し、その指示を受けなければならない。これに要する費用については、監督員と受注者で協議して定めるものとする。 (4) 日々の施工完了後の交通開放にあたり、走行車両による風圧によってシートの剥離等が懸念される場合、養生等の条件に十分注意し、炭素繊維シートの端部を帯板とアンカーを併用する等、機械的に覆工コンクリートに止める等の処置を行わなければならない。												
	20-7-5 数量の検測 炭素繊維シート接着工の数量の検測、設計数量(㎡)で行うものとする。	20-7-5 数量の検測 炭素繊維シート接着工の数量の検測、設計数量(㎡)で行うものとする。												
	20-7-6 支 払 炭素繊維シート接着工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う墨だし、含浸・接着樹脂の練混ぜ塗布、炭素繊維の貼付け等炭素繊維シート接着工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。	20-7-6 支 払 炭素繊維シート接着工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う墨だし、含浸・接着樹脂の練混ぜ塗布、炭素繊維の貼付け、移動足場（トラック架装リフト（デッキ旋回・ブーム型）揚程8m～10m未満）に要する費用等炭素繊維シート接着工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用												
	16	16												



項目	誤	正																
特記仕様書																		
20-8 炭素繊維シート表面仕上工																		
20-8-6 支払																		
	<div><div>単価表の項目</div><div>炭素繊維シート接着工</div><div>A</div><div>㎡</div></div> <div>20－8 炭素繊維シート表面仕上工</div> <div>20－8－1 定義</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工とは、炭素繊維シート接着箇所の表面を仕上げることをいう。</div> <div>20－8－2 種 別</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工の単価表の項目の種別は、下表のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>A</td><td>JIS A 6909建築用仕上り塗材のうち、薄付け仕上り塗材、複層仕上り塗材相当品（ただし、可とう形・柔軟形を除く）を使用するもの</td></tr></table> <div>20－8－3 材 料</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工に使用する材料は、構造物施工管理要領Ⅲ-7-1-6の規定に従わなければならない。</div> <div>20－8－4 施 工</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工の施工は、構造物施工管理要領Ⅲ-7-1-6の関連する規定に従って行わなければならない。</div> <div>20－8－5 数量の検測</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工の数量の検測は、設計図書及び監督員の指示に従って施工されたと監督員が認めた、設計数量(㎡)で行うものとする。</div> <div>20－8－6 支 払</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う炭素繊維シート表面仕上工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</div> <div><div>単価表の項目</div><div>炭素繊維シート表面仕上工</div><div>A</div><div>㎡</div></div> <div>20－9 断面修復工</div> <div>20－9－1 定義</div> <div>断面修復工とは、覆工コンクリート構造物の欠損箇所の整形、プライマー塗布を行い、左官工法により断面修復材にて修復することをいう。</div> <div>20－9－2 種 別</div> <div>断面修復工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>B 1</td><td>移動足場上でトンネル覆工コンクリートの劣化損傷部をウォータージェット工法ではつり取り、左官工法により断面修復材にて修復するものをいう。</td></tr></table> <div>20－9－3 材 料</div> <div>断面修復工に使用する材料は、構造物施工管理要領Ⅲ-3-3-2～5の規定に適合するものでなければならない。</div> <div>20－9－4 施 工</div> <div>(1) 断面修復工の施工は、構造物施工管理要領Ⅲ-3-3-6～9の規定に従い行うものとする。</div> <div>(2) ウォータージェット工法の施工は、構造物施工管理要領Ⅲ-3-1-2「はつり処理」の規定によるものとする。</div>	単価表の項目	区 分 内 容	A	JIS A 6909建築用仕上り塗材のうち、薄付け仕上り塗材、複層仕上り塗材相当品（ただし、可とう形・柔軟形を除く）を使用するもの	単価表の項目	区 分 内 容	B 1	移動足場上でトンネル覆工コンクリートの劣化損傷部をウォータージェット工法ではつり取り、左官工法により断面修復材にて修復するものをいう。	<div>を含むものとする。</div> <div><div>単価表の項目</div><div>炭素繊維シート接着工</div><div>A</div><div>㎡</div></div> <div>20－8 炭素繊維シート表面仕上工</div> <div>20－8－1 定義</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工とは、炭素繊維シート接着箇所の表面を仕上げることをいう。</div> <div>20－8－2 種 別</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工の単価表の項目の種別は、下表のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>A</td><td>JIS A 6909建築用仕上り塗材のうち、薄付け仕上り塗材、複層仕上り塗材相当品（ただし、可とう形・柔軟形を除く）を使用するもの</td></tr></table> <div>20－8－3 材 料</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工に使用する材料は、構造物施工管理要領Ⅲ-7-1-6の規定に従わなければならない。</div> <div>20－8－4 施 工</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工の施工は、構造物施工管理要領Ⅲ-7-1-6の関連する規定に従って行わなければならない。</div> <div>20－8－5 数量の検測</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工の数量の検測は、設計図書及び監督員の指示に従って施工されたと監督員が認めた、設計数量(㎡)で行うものとする。</div> <div>20－8－6 支 払</div> <div>炭素繊維シート表面仕上工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う炭素繊維シート表面仕上工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用（移動足場（トラック架装リフト（デッキ旋回・ブーム型）揚程8m～10m未満）に要する費用を含む）で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</div> <div><div>単価表の項目</div><div>炭素繊維シート表面仕上工</div><div>A</div><div>㎡</div></div> <div>20－9 断面修復工</div> <div>20－9－1 定義</div> <div>断面修復工とは、覆工コンクリート構造物の欠損箇所の整形、プライマー塗布を行い、左官工法により断面修復材にて修復することをいう。</div> <div>20－9－2 種 別</div> <div>断面修復工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>B 1</td><td>移動足場上でトンネル覆工コンクリートの劣化損傷部をウォータージェット工法ではつり取り、左官工法により断面修復材にて修復するものをいう。</td></tr></table> <div>20－9－3 材 料</div> <div>断面修復工に使用する材料は、構造物施工管理要領Ⅲ-3-3-2～5の規定に適合するものでなければならない。</div> <div>20－9－4 施 工</div> <div>(1) 断面修復工の施工は、構造物施工管理要領Ⅲ-3-3-6～9の規定に従い行うものとする。</div>	単価表の項目	区 分 内 容	A	JIS A 6909建築用仕上り塗材のうち、薄付け仕上り塗材、複層仕上り塗材相当品（ただし、可とう形・柔軟形を除く）を使用するもの	単価表の項目	区 分 内 容	B 1	移動足場上でトンネル覆工コンクリートの劣化損傷部をウォータージェット工法ではつり取り、左官工法により断面修復材にて修復するものをいう。
単価表の項目	区 分 内 容																	
A	JIS A 6909建築用仕上り塗材のうち、薄付け仕上り塗材、複層仕上り塗材相当品（ただし、可とう形・柔軟形を除く）を使用するもの																	
単価表の項目	区 分 内 容																	
B 1	移動足場上でトンネル覆工コンクリートの劣化損傷部をウォータージェット工法ではつり取り、左官工法により断面修復材にて修復するものをいう。																	
単価表の項目	区 分 内 容																	
A	JIS A 6909建築用仕上り塗材のうち、薄付け仕上り塗材、複層仕上り塗材相当品（ただし、可とう形・柔軟形を除く）を使用するもの																	
単価表の項目	区 分 内 容																	
B 1	移動足場上でトンネル覆工コンクリートの劣化損傷部をウォータージェット工法ではつり取り、左官工法により断面修復材にて修復するものをいう。																	

項目	誤	正												
特記仕様書  21. 割掛対象表の項目に示す工事の内容	<p><b>2 1. 割掛対象表の項目に示す工事の内容</b></p> <p>対象表の項目に示す工事の内容は、共通仕様書第 1 章「表 1－3 割掛対象表の項目に示す工事の内容」による他、次のとおりとする。なお、これに要する費用は関連する単価表の項目の単価を含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>【仮設備工事費】</p> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工 事 内 容</th></tr><tr><td>移動足場工費 A</td><td>トンネル覆工の補強及び各種補修工の施工に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>移動足場工費 B</td><td>トンネル覆工の補強及び各種補修工の事前調査に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。</td></tr></table> <p><b>2 2. 補足事項</b></p> <p>2 2－1 設計図書の変更及び追加について</p> <p>次に示す事項については、現在関係機関と協議中であり、関連する工事の設計内容を変更する可能性があるので、受注者は監督員と緊密な連絡を取ると共に、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。</p> <p>(1) 快適トイレを追加する場合がある。</p> <p>(2) 高速道路事業の P R 用に特別な看板の設置を追加する場合がある。</p> <p>(3) 現場環境改善に関する対策を追加する場合がある。</p> <p>(4) 発注者側の点検結果により、新たに補修が必要な箇所が判明した場合、補修等を追加する場合がある。</p> <p>2 2－2 工事記録の作成及び提出について</p> <p>(1) 工事記録情報</p> <p>受注者は、工事記録収集システムヘデータ入力完了後、別添様式－6「工事記録情報 完了届」をしゅん功届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出し、その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査の結果の通知を受けるものとする。</p> <p>なお、工事記録収集システムに関する問合せは、「保全情報管理員」に問合せるものとし、問合せ先については別途監督員より通知する。</p> <p>2 2－3 車両制限令を超える車両の通行に関する通行許可の確認結果の提出</p> <p>受注者は、共通仕様書 1－6 2「交通安全管理」 (5) における確認については、許可証の原本やオンライン申請においてはダウンロードした電子ファイルデータで確実に確認し、その確認結果を監督員に提出するものとする。</p> <p>2 2－4 緊急時の協力業務</p> <p>本工事期間中に水戸管理事務所管内の高速道路において、災害等が発生した場合は、監督員の指示に従い災害復旧に協力するものとする。これに要する費用については、別途、監督員と受注者で協議するものとする。</p> <p>2 2－5 有料道路料金費に関する事項</p> <p>有料道路料金費とは、E T C (Electronic Toll Collection System) が整備されているインターチェンジ等を E T C 無線通信により走行するために要する通行料金をいう。また、監督員の指示</p>	割掛対象表の項目名称	工 事 内 容	移動足場工費 A	トンネル覆工の補強及び各種補修工の施工に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。	移動足場工費 B	トンネル覆工の補強及び各種補修工の事前調査に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。	<p><b>2 1. 割掛対象表の項目に示す工事の内容</b></p> <p>対象表の項目に示す工事の内容は、共通仕様書第 1 章「表 1－3 割掛対象表の項目に示す工事の内容」による他、次のとおりとする。なお、これに要する費用は関連する単価表の項目の単価を含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>【仮設備工事費】</p> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工 事 内 容</th></tr><tr><td>移動足場工費 A</td><td>トンネル覆工の各種補修工の施工に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。</td></tr><tr><td>移動足場工費 B</td><td>トンネル覆工の補強及び各種補修工の事前調査に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。</td></tr></table> <p><b>2 2. 補足事項</b></p> <p>2 2－1 設計図書の変更及び追加について</p> <p>次に示す事項については、現在関係機関と協議中であり、関連する工事の設計内容を変更する可能性があるので、受注者は監督員と緊密な連絡を取ると共に、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は監督員と受注者で協議して定めるものとする。</p> <p>(1) 快適トイレを追加する場合がある。</p> <p>(2) 高速道路事業の P R 用に特別な看板の設置を追加する場合がある。</p> <p>(3) 現場環境改善に関する対策を追加する場合がある。</p> <p>(4) 発注者側の点検結果により、新たに補修が必要な箇所が判明した場合、補修等を追加する場合がある。</p> <p>2 2－2 工事記録の作成及び提出について</p> <p>(1) 工事記録情報</p> <p>受注者は、工事記録収集システムヘデータ入力完了後、別添様式－6「工事記録情報 完了届」をしゅん功届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出し、その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査の結果の通知を受けるものとする。</p> <p>なお、工事記録収集システムに関する問合せは、「保全情報管理員」に問合せるものとし、問合せ先については別途監督員より通知する。</p> <p>2 2－3 車両制限令を超える車両の通行に関する通行許可の確認結果の提出</p> <p>受注者は、共通仕様書 1－6 2「交通安全管理」 (5) における確認については、許可証の原本やオンライン申請においてはダウンロードした電子ファイルデータで確実に確認し、その確認結果を監督員に提出するものとする。</p> <p>2 2－4 緊急時の協力業務</p> <p>本工事期間中に水戸管理事務所管内の高速道路において、災害等が発生した場合は、監督員の指示に従い災害復旧に協力するものとする。これに要する費用については、別途、監督員と受注者で協議するものとする。</p> <p>2 2－5 有料道路料金費に関する事項</p> <p>有料道路料金費とは、E T C (Electronic Toll Collection System) が整備されているインターチェンジ等を E T C 無線通信により走行するために要する通行料金をいう。また、監督員の指示</p>	割掛対象表の項目名称	工 事 内 容	移動足場工費 A	トンネル覆工の各種補修工の施工に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。	移動足場工費 B	トンネル覆工の補強及び各種補修工の事前調査に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。
割掛対象表の項目名称	工 事 内 容													
移動足場工費 A	トンネル覆工の補強及び各種補修工の施工に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。													
移動足場工費 B	トンネル覆工の補強及び各種補修工の事前調査に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。													
割掛対象表の項目名称	工 事 内 容													
移動足場工費 A	トンネル覆工の各種補修工の施工に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。													
移動足場工費 B	トンネル覆工の補強及び各種補修工の事前調査に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。													
	26	26												





項目	誤				正																																		
割掛対象表参考内訳書 移動足場工費 A	割掛対象表参考内訳書				割掛対象表参考内訳書																																		
	【仮設備工事費】				【仮設備工事費】																																		
	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																															
移動足場工費 A	トンネル覆工の補強及び各種補修工の施工に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。	トラック架装リフト(デッキ旋回・ブーム型) 揚程8m～10m未満 <table><tr><th>単 価 項 目</th><th>数 量</th></tr><tr><td>覆工コンクリート表面処理工</td><td>75台・日</td></tr><tr><td>炭素繊維シート接着下地処理工</td><td>409台・日</td></tr><tr><td>炭素繊維シート接着工</td><td>461台・日</td></tr><tr><td>炭素繊維シート表面仕上工</td><td>152台・日</td></tr><tr><td>断面修復工</td><td>24台・日</td></tr><tr><td>止水注入工</td><td>37台・日</td></tr><tr><td>はく落防止対策工</td><td>33台・日</td></tr><tr><td>漏水対策工</td><td>62台・日</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,253台・日</td></tr></table>	単 価 項 目	数 量	覆工コンクリート表面処理工	75台・日	炭素繊維シート接着下地処理工	409台・日	炭素繊維シート接着工	461台・日	炭素繊維シート表面仕上工	152台・日	断面修復工	24台・日	止水注入工	37台・日	はく落防止対策工	33台・日	漏水対策工	62台・日	合計	1,253台・日	—	移動足場工費 A	トンネル覆工の各種補修工の施工に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。	トラック架装リフト(デッキ旋回・ブーム型) 揚程8m～10m未満 <table><tr><th>単 価 項 目</th><th>数 量</th></tr><tr><td>断面修復工</td><td>24台・日</td></tr><tr><td>止水注入工</td><td>37台・日</td></tr><tr><td>はく落防止対策工</td><td>33台・日</td></tr><tr><td>漏水対策工</td><td>62台・日</td></tr><tr><td>合計</td><td>156台・日</td></tr></table>	単 価 項 目	数 量	断面修復工	24台・日	止水注入工	37台・日	はく落防止対策工	33台・日	漏水対策工	62台・日	合計	156台・日	—
単 価 項 目	数 量																																						
覆工コンクリート表面処理工	75台・日																																						
炭素繊維シート接着下地処理工	409台・日																																						
炭素繊維シート接着工	461台・日																																						
炭素繊維シート表面仕上工	152台・日																																						
断面修復工	24台・日																																						
止水注入工	37台・日																																						
はく落防止対策工	33台・日																																						
漏水対策工	62台・日																																						
合計	1,253台・日																																						
単 価 項 目	数 量																																						
断面修復工	24台・日																																						
止水注入工	37台・日																																						
はく落防止対策工	33台・日																																						
漏水対策工	62台・日																																						
合計	156台・日																																						
移動足場工費 B	トンネル覆工の補強及び各種補修工の事前調査に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。	トラック架装リフト(ブーム型) 揚程8m～12m未満 <table><tr><th>単 価 項 目</th><th>数 量</th></tr><tr><td>覆工コンクリート表面処理工</td><td rowspan="4">46台・日</td></tr><tr><td>炭素繊維シート接着下地処理工</td></tr><tr><td>炭素繊維シート接着工</td></tr><tr><td>炭素繊維シート表面仕上工</td></tr><tr><td>断面修復工</td><td rowspan="3">30台・日</td></tr><tr><td>止水注入工</td></tr><tr><td>はく落防止対策工</td></tr><tr><td>漏水対策工</td><td>35台・日</td></tr><tr><td>合計</td><td>111台・日</td></tr></table>	単 価 項 目	数 量	覆工コンクリート表面処理工	46台・日	炭素繊維シート接着下地処理工	炭素繊維シート接着工	炭素繊維シート表面仕上工	断面修復工	30台・日	止水注入工	はく落防止対策工	漏水対策工	35台・日	合計	111台・日	—	移動足場工費 B	トンネル覆工の補強及び各種補修工の事前調査に必要な足場工として高所作業車の使用に要する費用をいう。	トラック架装リフト(ブーム型) 揚程8m～12m未満 <table><tr><th>単 価 項 目</th><th>数 量</th></tr><tr><td>覆工コンクリート表面処理工</td><td rowspan="4">46台・日</td></tr><tr><td>炭素繊維シート接着下地処理工</td></tr><tr><td>炭素繊維シート接着工</td></tr><tr><td>炭素繊維シート表面仕上工</td></tr><tr><td>断面修復工</td><td rowspan="3">30台・日</td></tr><tr><td>止水注入工</td></tr><tr><td>はく落防止対策工</td></tr><tr><td>漏水対策工</td><td>35台・日</td></tr><tr><td>合計</td><td>111台・日</td></tr></table>	単 価 項 目	数 量	覆工コンクリート表面処理工	46台・日	炭素繊維シート接着下地処理工	炭素繊維シート接着工	炭素繊維シート表面仕上工	断面修復工	30台・日	止水注入工	はく落防止対策工	漏水対策工	35台・日	合計	111台・日	—		
単 価 項 目	数 量																																						
覆工コンクリート表面処理工	46台・日																																						
炭素繊維シート接着下地処理工																																							
炭素繊維シート接着工																																							
炭素繊維シート表面仕上工																																							
断面修復工	30台・日																																						
止水注入工																																							
はく落防止対策工																																							
漏水対策工	35台・日																																						
合計	111台・日																																						
単 価 項 目	数 量																																						
覆工コンクリート表面処理工	46台・日																																						
炭素繊維シート接着下地処理工																																							
炭素繊維シート接着工																																							
炭素繊維シート表面仕上工																																							
断面修復工	30台・日																																						
止水注入工																																							
はく落防止対策工																																							
漏水対策工	35台・日																																						
合計	111台・日																																						



